

様式第2号（8関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		令和7年度第1回（第41回）ひたちなか市公共交通活性化協議会
開 催 日 時		令和7年4月17日（木）10時から10時50分まで
開 催 場 所		ひたちなか市役所第3分庁舎防災会議室1，2
出席者	委 員 （ 者 ） 氏 名	大谷会長，伊藤委員，柿本委員，吉田委員，林委員，遠藤委員（代理：黒田氏），大貫委員，古賀委員，服部委員，鬼沢委員，梶山委員（代理：齋藤氏）梅原委員，橋本委員，小山委員，谷津委員，佐藤委員，井上委員，下山田委員，若林委員，吉田委員，富川委員，海野委員，山田委員，三橋オブザーバー，市野オブザーバー
	担当部課職員職氏名	森山企画部長，井上企画部参事，大谷企画調整課長，菅野企画調整課長補佐，櫻井企画調整課技佐，企画調整課岡安主任，企画調整課堀川主任
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別		1 開会 2 会長挨拶 3 新任委員紹介 （1）協議事項 ①令和6年度事業報告について ②令和6年度決算見込について ③令和7年度事業計画（案）について ④令和7年度予算（案）について ⑤「地域公共交通計画」の策定体制について （2）その他 「スマイルあおぞらバス」乗車無料期間の結果について 5 その他 6 閉会
		会議の公開又は非公開の別 公開
非公開の理由 （会議を非公開とした場合）		—
傍 聴 者 の 数		0名
会 議 資 料 の 名 称		—配布資料— 次第 委員名簿及び座席表 資料 No.1 令和6年度事業報告・令和6年度決算見込 資料 No.2 令和7年度事業計画（案）・令和7年度予算（案） 資料 No.3 「地域公共交通計画」の策定体制 資料 No.4 「スマイルあおぞらバス」乗車無料期間の結果
会 議 録 の 作 成 方 法		要点筆記

そ の 他	委員全 33 名のうち委任状の提出を含め 23 名の委員の方が出席し、協議会規約第 8 条第 2 項に規定する、2 分の 1 以上の委員の出席があり、会議が成立した。
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
	1 開会 2 会長挨拶 3 新任委員紹介 4 議事 （1）協議事項 ①令和 6 年度事業報告について②令和 6 年度決算見込について※一括審議 承認 【質疑等】なし ③令和 7 年度事業計画（案）について④令和 7 年度予算（案）について※一括審議 【質疑等】 （委員） 事業費に委託費を計上しているが、委託先を確認したい。 （事務局） 今回の会議で予算をご審議いただき承認を得たのちに、事業者の選定を進めていくため、現時点では委託先は決定していない。 ⑤「地域公共交通計画」の策定体制について 【質疑等】 （委員） 小委員会を設置するとのことだが、茨城運輸支局も参加したいので検討願いたい。 （事務局） 参加いただく方向でお願いをさせていただきたい。

(2) その他 「スマイルあおぞらバス」乗車無料期間の結果について

【質疑等】

(委員)

①小中学生乗車無料期間は、無料券付きのチラシを配布したとのことだが、何枚配ったのか。

②高齢者乗車無料期間は、「いばらきシニアカード」を提示する方式だが、カードを持っている高齢者はどのくらいいるのか。

(事務局)

①市内の児童生徒約 12,000 人にチラシを配布した。

②「いばらきシニアカード」所有者の正確な枚数はすぐには回答ができないが、対象となる 65 歳以上の高齢者は約 4 万人である。

(委員)

①小中学校に無料券付きのチラシを配ったとのことだが、特別支援学校には配布したか。

②高齢者乗車無料期間の対象者には、障害者手帳を持っている方含めて、チラシを配ったのか。

(事務局)

①市内の特別支援学校は、茨城大学附属特別支援学校、勝田特別支援学校の 2 校あるが、そちらの小学部と中学部にはチラシの配布をしており、先ほど申し上げた約 12,000 人に含んでいる。

②高齢者への周知は、対象となる高齢者へのチラシ配布ではなく、市報や市のホームページやバス車内、あとは、公共施設にポスターを貼り、お知らせをした。なるべく多くの高齢の方に情報が届くように努めた。

(委員)

高齢者乗車無料の対象期間は 9 月 1 日から 10 月 10 日までであるが、アンケートにおいて他の期間を希望する意見はあったか。

(事務局)

気温が下がり外出がしやすい時期に設定したこともあり、全く違う時期に変えてほしいという意見はそこまで多くなかった。

	(オブザーバー) 小中学生，高齢者いずれの乗車無料期間も，最終的な目的は，継続的な利用を促すことだと思う。無料期間の前後で利用者がどう変化し，増えたのか減ったのかとか，継続的な利用に繋がってるのかどうかというところを，しっかり把握していただきたい。 (事務局) 特に，高齢者乗車無料期間については，昨年始めたものであるため，継続して実施をし，データも積み重ねていって効果を検証していきたい。 (2) その他 ひたちなか海浜鉄道の鉄旅オブザイヤー受賞について (大谷会長) 海浜鉄道の受賞についてご紹介いただきたい。 (委員) 国鉄時代の車両でひたちなか海浜鉄道にのみ現存していた「キハ 205 系」を活用し，旅行会社で寝台列車の旅行を企画し，「鉄旅オブザイヤー」のグランプリを受賞した。 旅行内容のみならず，地域住民が湊線を支え，まちおこしにもつながっているところが評価に寄与したのではないかと認識している。今後もまちの発展に向け，鉄道を活用した取り組みをしていきたい。
5	その他
6	閉会